

## Dialog 21 Sequencing events -手順と順序について言う

口語訳

Roles: Julie= J, Kei= K

Julie is teaching Kei how to make pancakes.

J: Alright. Let's begin. First, put the pancake mix in the bowl.

K: OK... Then what?

J: Then, put two eggs and some milk into the bowl.

K: Done... And after that?

J: After that, mix it all together.

K: Got it. Then what do I do?

J: Next, put the mix in the pan... and flip it after a few minutes.

K: Alright.

J: Finally, we just wait until it's ready.

K: Sounds good... and it smells great.

ジュリーは圭にホットケーキの作り方を教えています。

ジ: いいわ。始めましょう。はじめに、ホットケーキミックスをボウルに入れる。

ケ: いいよ。それから?

ジ: それから、卵を2個と牛乳を少し、ボウルに入れる。

ケ: やったよ。そのあとは?

ジ: そのあとは全部を混ぜ合わせるの。

ケ: 分かった。それから何をしたらいい?

ジ: 次に、混ぜたものをフライパンに入れて・・・何分かたったらひっくり返すの。

ケ: ようし。

ジ: 最後は、出来上がるまで待つだけよ。

ケ: おいしそうだね。それにとってもいいにおい。

## Target Expressions

### —手順と順序を言う表現—



物事や動作の順序を言う時、次のような表現を使うと便利です。料理の手順や、スケジュールなどを整理して提示することができます。

**first** (まず、はじめに)

**First, put the pancake mix in the bowl.**

(はじめに、ホットケーキミックスをボウルに入れる。)

**then, after that, next** (次に、それから)

**Then, put two eggs and some milk into the bowl.**

(それから卵を2個と牛乳を少しボウルに入れる。)

**After that, mix it all together.**

(その後は全部を混ぜ合わせるの。)



## Kei's Advice

~なぜこう訳すの？

## 逐語訳

"Got it." : (I have) got it.の略です。「分かった」、「なるほど」という意味で主に口語で用いられます。

"ready" : 「用意(準備)ができた」 出来上がる

"sound" : 「音」以外に、「(人の声)が~に聞こえる、響く、思われる」という動詞としての用法もあります。ここでは「出来上がるまで待つだけでいい」というジュディーの言葉が、圭には「よく聞こえる」つまり「それはいいね」「おいそうだね」となります。

同様に、"smell"も「におい」だけでなく、「~のにおいがする」という意味で使うことができます。ここでは"it smells great"で「いいにおいがする」となります。

ジュリーは圭にホットケーキの作り方を教えています。

ジ： はい。 さあ始めましょう。 まずホットケーキミックスをそのボウルに入れなさい。

ケ： はい。 それから何を？

ジ： それから、卵2個と牛乳をいくらかそのボウルに入れなさい。

ケ： やりました。 そしてその後は？

ジ： その後はそれを全部一緒に混ぜなさい。

ケ： 分かりました。 それから僕は何をするのですか？

ジ： 次はその混ぜた物をフライパンに入れなさい、そして数分後にひっくり返して。

ケ： はい。

ジ： 最後はそれの準備ができるまで私たちは待つだけです。

ケ： それはいいですね、そしてそれはいいにおいがします。

**Next, put the mix in the pan.**

(次に混ぜたものをフライパンに入れて。)

**finally**(最後に、終りに)

**Finally, we just wait until it's ready.**

(最後は出来上がるまで待つだけよ。)



Target Expressions

—手順と順序を言う表現—

**then** の使い方

**then** 「それから、次に」は順序を示す表現です。あることに付け加えてさらに何かを言いたいとき使います。「さて次に」のように新たな話題を持ち出して言うときには使いません。

手順に従う表現

相手の示した手順に従い、「分かった」「OK だよ」「やったよ」などと言いたいときは次のような表現を使います。

「分かった」「OK だよ」: "Alright." "Got it."  
"OK."

「やったよ」: "Done."